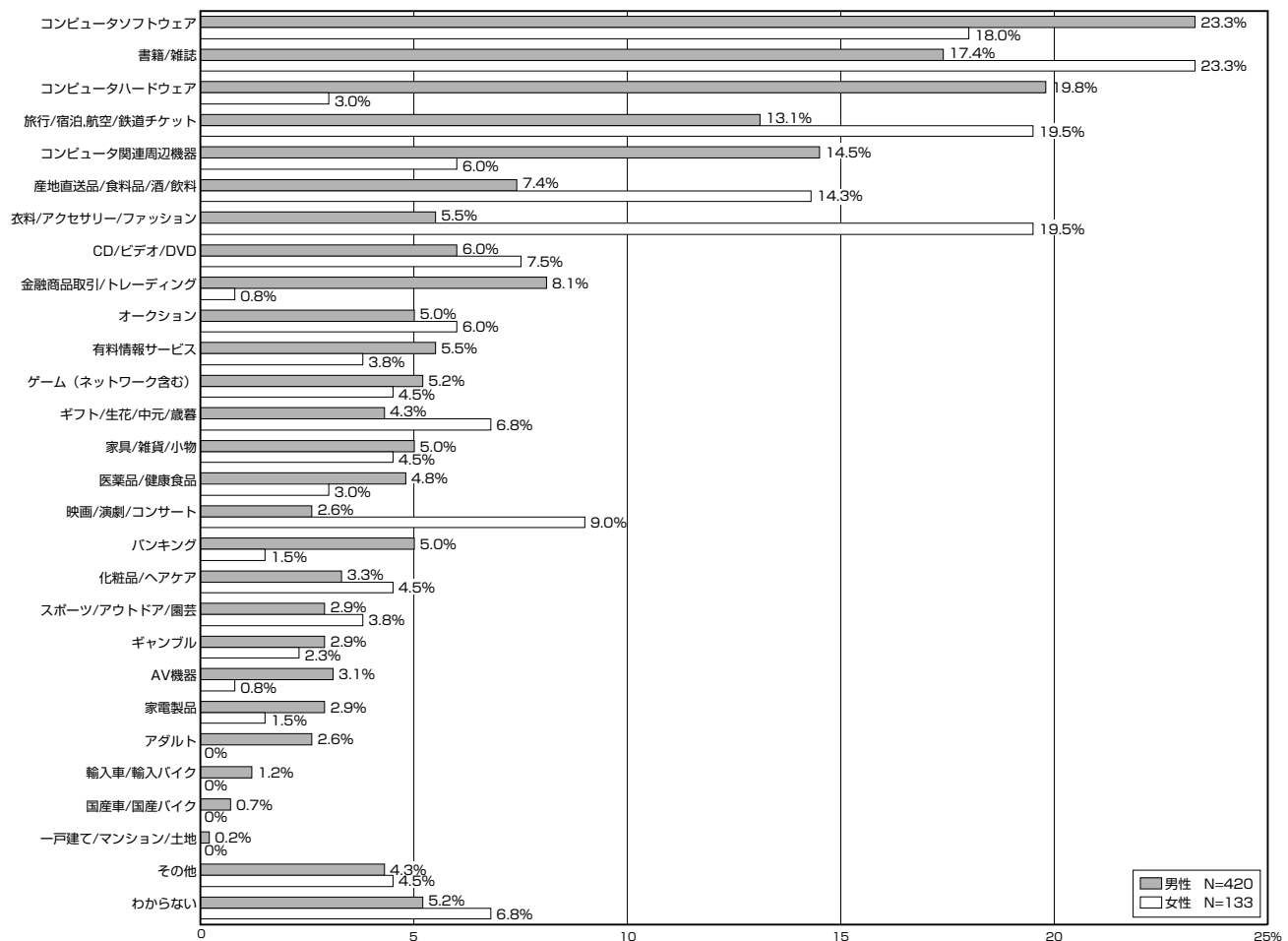


第2章 個人

オンラインショッピング②

男女ともに購入分野は書籍/雑誌

資料1-2-17 製品・サービス実際の購入分野（性別） N=553



インターネット白書2000 ©インプレス、Access Media International/GIAJ, 2000

解説

オンラインショッピングで実際に購入した製品やサービスの分野（資料1-2-17）をみると、情報収集分野とは異なり、「コンピュータソフトウェア」（22.1%）と「書籍/雑誌」（18.8%）が高くなっている。それぞれ「コンピュータソフトウェア」は男性が、「書籍/雑誌」は女性が購入している比率が高いという特徴があった。特に昨年3位だった「書籍/雑誌」が2位に浮上したのは女性インターネット利用者の増加と密接である。

情報収集では最も高かった「旅行/宿泊、航空/鉄道チケット」は実際の購入では4位であるが、これも女性が購入している比率が高かった項目である。

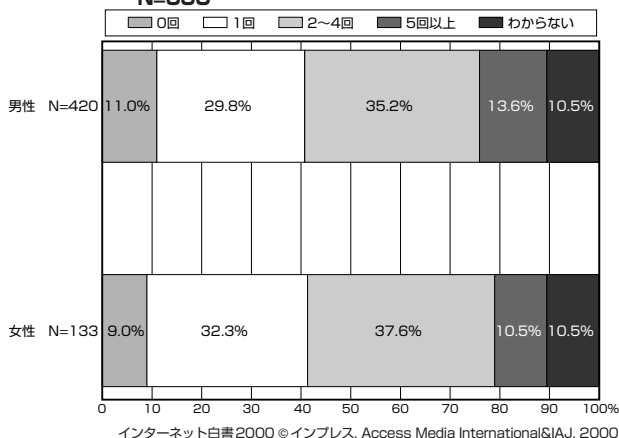
一方「コンピュータハードウェア」は女性の支持が低く（女性の購入率は3.0%）、昨年までの1位から3位へ落ちている。その他にもインターネットの女性利用者の増加は「産地直送品/食料

品/酒/飲料」や「衣料/アクセサリ/ファッション」などの購入比率を押し上げている。

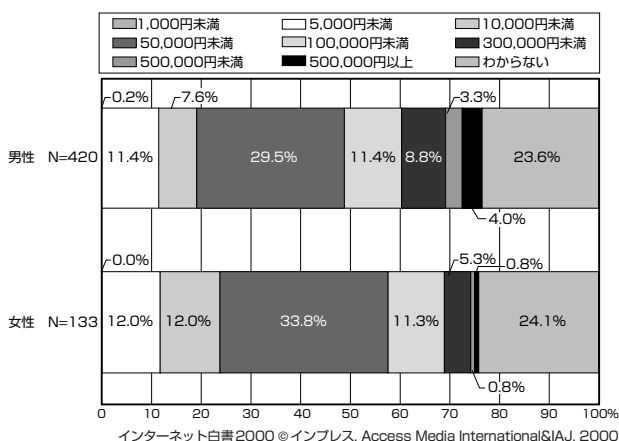
最近1年間の製品・サービス購入の回数（資料1-2-18）は「2～4回」（35.8%）と「1回」（30.4%）が主流となっており、年2回以上の複数回購入者が全体の約半数を占める。今回の回答者のインターネット利用歴は「1年未満」が38.2%を占めるということ considering すれば、利用者における繰り返し購入率は高いとみてよいだろう。

オンラインショッピングによる1年間の平均購入金額は、「50,000円未満」が最も多く30.6%を占める、次いで「5,000円未満」が11.6%、「100,000円未満」が11.4%と僅差で続いている。繰り返し購入率が高いためか、年間の購入金額（資料1-2-19）は意外に高く、男女ともに5万円未満の合計は約半数である。特

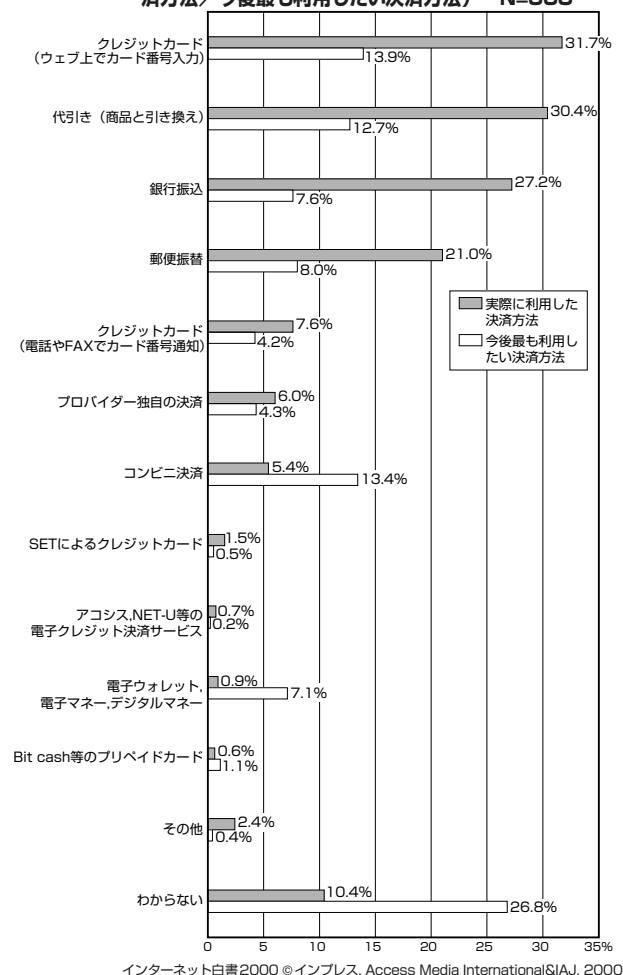
資料1-2-18 最近1年間の製品・サービスの購入回数（性別）
N=553



資料1-2-19 製品・サービスの平均年間購入金額（性別） N=553



資料1-2-20 製品・サービス購入の際の決済方法（実際に利用した決済方法/今後最も利用したい決済方法） N=553



解説

に男性では10万円以上が16.1%いる。

製品・サービス購入の際、実際に利用した決済方法と今後最も利用したい決済方法を聞いた（資料1-2-20）。昨年同様、主流となっている決済方法の順位は全く変わっていない。最も変わったといえるのは「クレジットカード（電話やFAXでカード番号通知）」の大幅減少（1999年15.4%→2000年7.6%）と「コンビニ決済」の増加（1999年4.4%→5.4%）である。前者はオンラインショッピングのシステムの進化と利用者の利便性を考えれば当然のことといえる。一方、後者の「コンビニ決済」は微増だが、注目したいのは今後利用したい意向が現状を大きく上回っている点である。「コンビニ決済」が支持されているのはプライバシーの問題への不安と同時に、日常生活におけるコンビニ利用率の高さや、日頃のコンビニへの親近感、あるいは最近の『町の窓口機能』と

してさまざまな取り組みをしていることに対する認識が推察できる。

今後最も利用したい決済方法としても、「クレジットカード（ウェブ上でカード番号入力）」に次いで、前記のように「コンビニ決済」が挙げられている。実際の決済方法で上位に挙げられた「代引き」や「郵便振替」「銀行振込」を上回っての2位であることから期待が大きいことがうかがえる。また、昨年に引き続き「電子ウォレット、電子マネー、デジタルマネー」に対する期待も依然として高い。

（矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社）



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp